

Medical Management Specialist MMS NEWS

2013 3月号

発行/一般社団法人 日本医療経営実践協会 (JMMPA) 〒101-0033 東京都千代田区神田岩本町4-14 神田平成ビル7F 編集/日本医療企画 毎月1回発行

お問い合わせ先 一般社団法人 日本医療経営実践協会 事務局 TEL.03-5296-1933 FAX.03-5296-1934 http://www.JMMPA.jp/

◆「医療経営士3級」資格認定試験結果概要◆

Table with 2 columns: 第8回試験, 第1回~第8回試験累計. Rows include 受験申込数, 受験数, 合格数, 合格率.

今回の第8回「医療経営士3級」資格認定試験は、全国14会場(北海道1、宮城県1、福島県1、東京都4、千葉県1、石川県2、愛知県1、大阪府1、山口県1、福岡県1)で実施、過去最多となる914人の受験申込者のうち、853人が受験した。

一般社団法人日本医療経営実践協会(代表理事吉原健二・厚生年金事業振興団顧問)は、2月17日(日)、全国で第8回「医療経営士3級」資格認定試験を実施した。3月19日(火)に発表となった合格者数等の結果概要についてお伝えする。

第8回「医療経営士3級」資格認定試験詳細 合格者2000人を突破! 合格後の実践活動にも期待

今回の第8回「医療経営士3級」資格認定試験は、全国14会場(北海道1、宮城県1、福島県1、東京都4、千葉県1、石川県2、愛知県1、大阪府1、山口県1、福岡県1)で実施、過去最多となる914人の受験申込者のうち、853人が受験した。合格率は31.9%(前回比△13.0%)、第7回試験までの合格者と合わせ、全国の「医療経営士3級」合格者は2066人となった(詳細については、当協会WEBサイトhttp://www.jmmpa.jpを参照)。

外の受験者の増加がさらに顕著となり、全受験者のうち病院勤務者の占める割合は24.5%と過去最低となった。医療関連機関、金融業界、その他一般企業等における医療経営士への関心が高まっていることが、数字の面からも明らかになってきている。



試験官の説明に真剣に耳を傾ける受験生。写真は東京会場(TKP 神田ビジネスセンター ANNEX)の様子

れをつかんでおくことが合格への最短距離であるということ、これから受験を考えると、方々には理解しておいていただきたい。医療経営士の資格は、試験に合格することをゴールとしていない。合格した後、日本医療経営実践協会の会員となり、研究会や勉強会

へ参加して自身のスキルを高めていくと同時に、医療経営士同士のネットワークを構築し、「医療経営」という分野を広く深く発展させていくことが医療経営士の重要な役割である。今回新たに合格した272人には、この合格をスタートと捉え、「自分たちが病院の経営を変える」という気概を持ち、精力的に実践活動を行っていただくことを期待したい。

日本医療経営実践協会東海支部 第3回研究会のご案内 共催：名古屋医療マネジメント研究会

第1部：講演 「自治体病院の経営改善——医師・看護師人事制度導入によるモチベーション向上(仮)」 元・伊勢市民病院院長 松阪市民病院総合企画室 世古口務 先生

第2部：ディスカッション テーマ：「医療経済崩壊時代 あなたが総理大臣だったらどうする？」 医療政策の解説後、総理大臣になりきって政策をつくり、ディスカッションのなかから、未来の医療環境の予測につなげ、現場での業務改善、経営戦略に役立てます。 \*第2部終了後、懇親会を開催いたします。

Table with 2 columns: 日時, 場所, 参加料. Details include date (March 30, 2013), location (Tsuruta Seminar Room), and fees (3,000 yen for research meeting, 5,000 yen for networking).

\*参加人数が定員30人を超過した場合、会場と参加費が若干変更する場合がございます。あらかじめご了承ください。

日本医療経営実践協会 2012年度活動報告

# 協会正会員が827人に！ 広がる医療経営士の知識と実践力

2010年7月に日本医療経営実践協会が設立してから2年8カ月。2013年3月13日現在、協会の正会員数は827人となった。正会員数の増加とともに、医療経営士に対する認知度や期待感が高まっている。ここでは、2012年度の日本医療経営実践協会の活動について報告する。

## ◆3級資格認定試験

**受験者数、合格者数**  
2012年度、3級資格認定試験は、6月(第6回)、10月(第7回)、2月(第8回)の3回実施され、年間受験者数は1969人のぼった(図1)。

53人で、医療経営士の認知度の高まりを感じさせる数となった。年間合格者数803人、累計合格者数は2066人となり、2010年9月の第1回試験から2年5カ月で2000人を超えた。

## ◆2級資格認定試験

2月(第8回)の受験者数は、過去7回の受験者平均人数(466人)の1.8倍となる8

**受験者数、合格者数**  
2級資格認定試験は、

6月(第3回)、10月(第4回)の2回実施され、年間受験者数は334人。2011年6月の第1回試験からの累計受験者数は724人となった(図2)。

しかし、年間合格者数は66人、累計合格者数は136人とまだまだ少ない。10月(第4回)の合格率は28.0%と高まったものの、全4回の平均合格率は19%弱で、狭き門となっている。

今後、2級合格を勝ち取る人が一人でも増えることが期待されている。

62人、(図3)。協会の正会員数は827人(3級合格者723人、2級合格者104人)となった(2013年3月13日現在)。



日本医療経営実践協会は、全国大会や研究会を実施することで、2013年度も医療経営士の活動をサポートしていく

## ◆日本医療経営実践協会

**入会者数、正会員数**  
2012年度に協会に新たに入会したのは452人(3級合格者390人、2級合格者

図2 2級資格認定試験 受験者&合格者推移

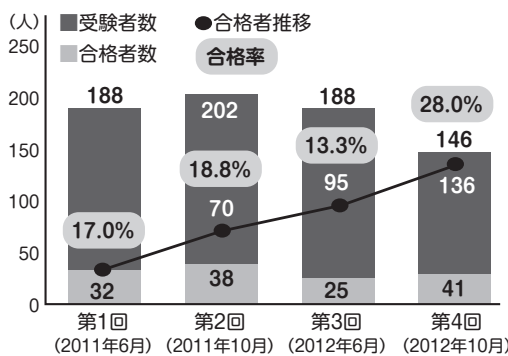


図3 入会者数&正会員数推移

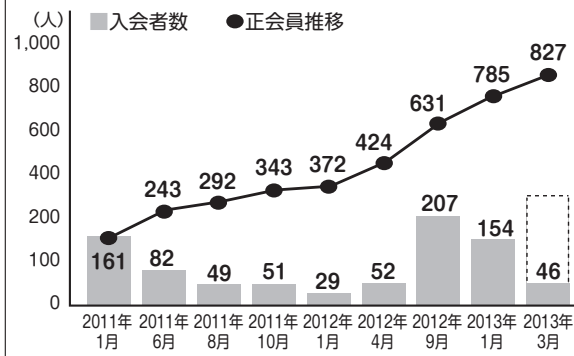
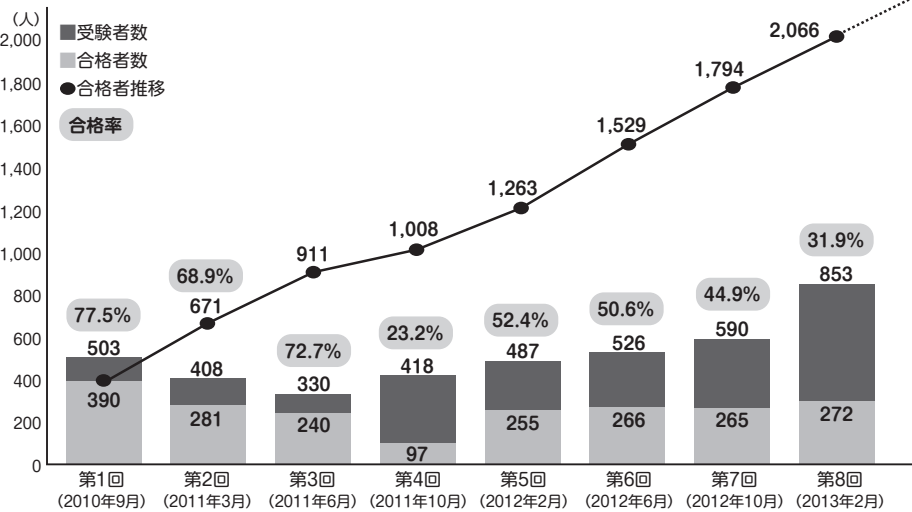


図1 3級資格認定試験 受験者&合格者推移



## 第2回「糖尿病透析予防指導管理料」 組織的算定のための実践ワークショップのご案内

高齢化が進展するなか、健康日本21 (Ver. 2) では生活習慣病の重症化予防がメインテーマとなっています。その一環として2012年度診療報酬改定において新設されたのが「糖尿病透析予防指導管理料(350点)」。組織的な算定を行うことで、臨床上的アウトカムのみならず病院収益にも大きく貢献します。本ワークショップでは、通算1,300件以上を算定している千葉県立東金病院のノウハウやワークフローを完全公開。対象患者抽出データベースや栄養指導ツールの作成を体験指導します!!

### 主な内容(予定)

【講演】組織的な算定推進のポイント

【ワークショップ1】対象患者抽出のためのデータベースをつくる

【ワークショップ2】透析予防の栄養指導ツールをつくる

インターネットからもお申し込みが可能です。

<http://www.jmp.co.jp/rompas/>

日時	2013年4月19日(金)13:00~17:00
場所	エッサム神田ホール2階(東京都千代田区神田鍛冶町3-2-2)
対象	医療従事者(医師、看護師、管理栄養士、療養指導士、医療経営士、事務職等)
講師	平井愛山氏(千葉県立東金病院院長)
受講料	21,000円(税込) 『「糖尿病透析予防指導管理料」算定ハンドブック(CD-ROM付き)』 (税込定価20,000円)付き *複数名で参加を希望される方は、追加受講料1人5,000円で参加いただけます (申込者と同一施設所属に限る。ハンドブックはなし)

# 2012年度 日本医療経営実践協会 本部と支部の活動一覧

資格認定試験	
2012年 6月	第3回医療経営士2級資格認定試験 第6回医療経営士3級資格認定試験
10月	第4回医療経営士2級資格認定試験 第7回医療経営士3級資格認定試験
2013年 2月	第8回医療経営士3級資格認定試験

本部(理事会・研究会・催し)	
2012年 4月	医療経営士2級フォーラム21:病院の品格を問う (川淵孝一・東京医科歯科大学大学院 医療経済学分野教授)
6月	第5回理事会 医療経営士2級フォーラム21:平成24年度同時改定後の検証～急性期病院はどこへ向かうのか? (長 英一郎・東日本税理士法人副所長)
7月	医療経営士2級フォーラム21:診療科別に考察する病院経営戦略①総論 (井上貴裕・病院経営ストラテジスト) 医療経営士2級フォーラム21:診療科別に考察する病院経営戦略②脳神経系診療科 (井上貴裕・病院経営ストラテジスト)
9月	医療経営士2級フォーラム21:診療科別に考察する病院経営戦略③呼吸器系診療科 (井上貴裕・病院経営ストラテジスト)
10月	医療経営士2級フォーラム21:診療科別に考察する病院経営戦略④循環器系診療科 (井上貴裕・病院経営ストラテジスト)
11月	第1回全国医療経営士実践研究大会 医療経営士2級フォーラム21:診療科別に考察する病院経営戦略⑤外科診療科 (井上貴裕・病院経営ストラテジスト)
12月	医療経営士2級フォーラム21:診療科別に考察する病院経営戦略⑥整形外科診療科 (井上貴裕・病院経営ストラテジスト)
2013年 1月	医療経営士2級フォーラム21:診療科別に考察する病院経営戦略⑦一般内科・総合診療科 (井上貴裕・病院経営ストラテジスト)
2月	新春講演会、新春の集い、第1回全国医療経営士実践研究大会授与式
3月	第6回理事会 医療経営士2級フォーラム21:病院マネジメントにおける“組織”“数値管理”コミュニケーションを「京セラ式 病院原価管理手法」を通して考える (蔭山裕之・KCCS マネジメントコンサルティング株式会社医療・介護コンサルティング部京都課長)

関東支部(研究会・催し)	
2012年 5月	医療経営道場:薬剤部門の経営参画について (湯本哲郎・社会福祉法人相模更生会総合相模更生病院薬剤部顧問) 問題解決型研究会:職員満足度調査の手法と活かし方① (永瀬隆之・株式会社JTBモチベーションズエグゼクティブコンサルタント)
6月	医療経営道場:病院経営を担える医事課へ (石井 仁・社会福祉法人恩賜財団済生会千葉県済生会習志野病院医事課長) 問題解決型研究会:職員満足度調査の手法と活かし方② (永瀬隆之・株式会社JTBモチベーションズエグゼクティブコンサルタント)
7月	問題解決型研究会:医療従事者とのコミュニケーション① (秋田啓次・日本リスクマネジメント協会リスクマネジメントフェロー)
8月	医療経営道場:地域包括ケアを踏まえた訪問看護のあり方 (佐野けさ美・スギメディカル株式会社医療福祉開発室室長、品質保証室室長、介護支援運営部部長)
9月	医療経営道場:医師の採用戦略と定着・人事制度について (溝口博重・株式会社AMI&I代表取締役社長) 問題解決型研究会:医療従事者とのコミュニケーション② (秋田啓次・日本リスクマネジメント協会リスクマネジメントフェロー)
10月	医療経営道場:経営視点からの医師事務作業補助者 (直江一彦・IMSグループ医療法人財団明理会東京腎泌尿器センター大和病院診療情報管理室) 問題解決型研究会:チーム医療がもたらす経営改革① (秋山和宏・東葛クリニック病院副院長)
11月	問題解決型研究会:チーム医療がもたらす経営改革② (秋山和宏・東葛クリニック病院副院長)
12月	問題解決型研究会:医療版失敗学のすすめ① (濱口哲也・東京大学大学院工学系研究科機械工学専攻社会連携講座特任教授)
2013年 2月	問題解決型研究会:医療版失敗学のすすめ② (濱口哲也・東京大学大学院工学系研究科機械工学専攻社会連携講座特任教授)

北陸支部(研究会・催し)	
2012年 5月	第3回研究会(合宿型研究会):医療現場の“やりがい”を生み出す問題解決実践事例～外来待ち時間の短縮 結論編 (鐘江康一郎・聖路加国際病院経営企画室)
7月	研究会番外編(合宿型研究会):国際モダンホスピタルショウ&聖路加国際病院見学ツアー
10月	第4回研究会:芳珠記念病院に学ぶMO T実践力「今日からあなたも改革実践者」 (仲井培雄・医療法人社団和楽仁理事長、芳珠記念病院スタッフ)

東海支部(研究会・催し)	
2012年 9月	第2回研究会:災害に備える民間病院版BCP(事業継続計画) (共催:愛知県医療法人協会、テルモ株式会社/後援:愛知県病院協会、愛知県精神科病院協会)
2013年 3月	第3回研究会: 講演「自治体病院の経営改善-医師・看護師人事制度導入によるモチベーション向上」 (世古口務・元伊勢市民病院院長、松坂市民病院総合企画室) ディスカッション「医療経済崩壊時代 あなたが総理大臣だったらどうする?」 (共催:名古屋医療マネジメント研究会)

関西支部(研究会・催し)	
2012年 4月	セミナー:西宮市における市民病院再生について (大村武久・医療法人甲友会理事長)
5月	グループワーク:地域連携(前編)
6月	グループワーク:地域連携(後編)
7月	グループワーク:勤務医の負担軽減(前編)
8月	グループワーク:勤務医の負担軽減(後編)
9月	講義+グループワーク:労務トラブルへの気づきとその対策 (鷹取敏昭・人事マネジメント研究所進創アシスト代表)
10月	セミナー:アメーバ経営による病院改革戦略～経営健全化に向けた看護部の解体と再構築 (山根哲郎・パナソニック健康保険組合松下記念病院院長)
12月	セミナー:チーム医療の質を高める多数精鋭戦略と人材育成 (近森正幸・社会医療法人近森会近森病院理事長・院長/西村 聡・株式会社メディン代表経営コンサルタント、大阪商業大学非常勤講師/梅原 隆・新日本有限責任監査法人大阪会計部パートナー公認会計士)
2013年 1月	講義+グループワーク:財務会計(前編) (梅原 隆・新日本有限責任監査法人大阪会計部パートナー公認会計士)
2月	梅原塾:財務会計の基礎勉強会① (梅原 隆・新日本有限責任監査法人大阪会計部パートナー公認会計士) 講義+グループワーク:財務会計(後編) (梅原 隆・新日本有限責任監査法人大阪会計部パートナー公認会計士)
3月	梅原塾:財務会計の基礎勉強会② (梅原 隆・新日本有限責任監査法人大阪会計部パートナー公認会計士) 講義+グループワーク:医療版BCP(前編) (田丸寿一・財団法人大阪府警察協会大阪警察病院施設課課長)

九州支部(研究会・催し)	
2012年 4月	経営と医療のセミナー:医療制度のしくみについて(超入門) (橋爪 章・保健医療経営大学学長、日本医療経営実践協会九州支部長)
5月	医療経営研究会:医療機関で活かせる「チームビルディング」①チームワーク (藤原大樹・保健医療経営大学講師) 経営と医療のセミナー:①最新情報リテラシーと活用方法 (川島秀樹・保健医療経営大学教授) 経営と医療のセミナー:②ケアマネジメントの基礎 (泉 賢祐・保健医療経営大学准教授)
6月	医療経営研究会:医療機関で活かせる「チームビルディング」②リーダーシップ (藤原大樹・保健医療経営大学講師) 実践型医療経営を創造する会:医療と介護の連携① 経営と医療のセミナー:①資格試験に挑戦しよう (中村康寛・保健医療経営大学教授) 経営と医療のセミナー:②チームワークの形成について (藤原大樹・保健医療経営大学講師)
7月	医療経営研究会:医療の質を上げる人材育成と組織管理①患者満足 (問註所紀之・保健医療経営大学非常勤講師) 経営と医療のセミナー:①医療規制を経済学的視点から考える (野崎竜太郎・保健医療経営大学准教授) 経営と医療のセミナー:②わが国企業の現状と課題 (石川勝経・保健医療経営大学教授)
8月	医療経営研究会:医療の質を上げる人材育成と組織管理②組織管理 (問註所紀之・保健医療経営大学非常勤講師) 経営と医療のセミナー:診療報酬の仕組み(超入門) (石原礼子・保健医療経営大学講師)
9月	医療経営研究会:院内外で活躍できるスタッフ育成法①新人、中堅スタッフ育成法 (木村結花・医療法人相生会ピーエスクリニック事務長)
10月	医療経営研究会:院内外で活躍できるスタッフ育成法②地域を巻き込む増患対策 (木村結花・医療法人相生会ピーエスクリニック事務長) 実践型医療経営を創造する会:医療と介護の連携②
11月	医療経営研究会:患者や家族を“味方”にする戦略①コミュニケーション法 (白梅英子・ル レーブ代表) 経営と医療のセミナー:①始動する医療改革 (橋爪 章・保健医療経営大学学長、日本医療経営実践協会九州支部長) 経営と医療のセミナー:②経営効率化に役立つ医療情報管理 (柴田実和子・保健医療経営大学講師)
12月	医療経営研究会:患者や家族を“味方”にする戦略②クレーム解決と予防法 (白梅英子・ル レーブ代表) 経営と医療のセミナー:①金融機関からみた医療経営 (待山義治・西日本シティ銀行法人ソリューション部) 経営と医療のセミナー:②プロジェクトマネジメント (伊達卓二・保健医療経営大学教授)
2013年 1月	医療経営研究会:就職したくなる医療機関の作り方①魅力ある組織づくり (中村直也・学校法人原田学園キャリアセンター所長) 経営と医療のセミナー:①医療施設にITを導入するメリット (萬代 望・保健医療経営大学准教授) 経営と医療のセミナー:②病院機能評価について (丸山正人・雪の聖母会聖マリア病院参与)
2月	医療経営研究会:就職したくなる医療機関の作り方②人材確保の方策 (中村直也・学校法人原田学園キャリアセンター所長) 経営と医療のセミナー:医療保険制度と医療経営 (岩崎充孝・保健医療経営大学非常勤講師)
3月	経営と医療のセミナー:医療経営における「時間」の考え方 (辻 正二・保健医療経営大学教授) 医療経営研究会:医療経営に必要な決算書の読み方・活用法 (権藤説子・税理士法人九州合同税務会計・権藤説子事務所代表税理士、日本医療経営実践協会九州支部監事)

\*支部によっては開催のない月があります。

医療経営士のための News & Topics

厚生労働省

医療事故調の議論が再開 現場から院内主導を提言

厚生労働省の「医療事故に係る調査の仕組み等のあり方に関する検討部会」の議論が進むなか、日本医師会をはじめとする医療関連団体からの試案・提言がほぼ出揃った。第三者委員会のあり方に関して立場の相違がみら

医療法人社団赤井外科クリニック 香川県の医療法人で事務長を募集!

- 地域に根ざした医療・介護・生活支援をシームレスに支える地域密着型のクリニック
□「つなげよう・つながろう高松香西の輪」をキャッチフレーズに開設50周年リニューアル移転! 事業拡大につき、当法人の理念に共感していただける方を急募

求人詳細
勤務地: 香川県高松市(JR予讃線香西駅より徒歩5分)
職種: 事務長
雇用形態: 正社員(試用期間有)
採用人数: 1人
応募資格: 医療経営士認定登録者
業務内容: 経営補助、人事、行政対応、書類管理
勤務開始日: 応相談
勤務時間: 9:00~18:00
休日・休暇: 4週8休、年末年始、夏季休暇、年間休日120日
給与: 応相談(経験等考慮します)
求めるスキル・経験: 医療コンサルタント、事務長経験(あれば良)、医療・介護行政に精通、対外交渉力、スタッフをまとめるリーダー資質・指導力、新しい事業を開始する場合の的確なサポート、資料作成、行政対応力、PC(エクセル、ワード、パワーポイント)操作、医療保険・介護保険に精通
待遇・福利厚生: 当法人の規定に準じる
応募方法: 履歴書(顔写真貼付)、職務経歴書を郵送してください。面接日時については追ってご連絡します(随時受付)

お問い合わせ&応募書類送付先
医療法人社団赤井外科クリニック 担当: 理事長・赤井 護
〒761-8013 香川県高松市香西東町315-2
TEL: 087-881-2776 / FAX: 087-881-5831
URL: http://www.akaijeka.com/
e-mail: akai.cln@crux.ocn.ne.jp

れるが、一定の方向性は見えてきたようだ。現在、盛んに提出されている試案や提言の嚆矢となったのは、2011年6月に発表された、日本医師会の医療事故調査に関する検討委員会答申「医療事故調査制度の創設に向けた基本的提言について」である。医療事故調査制度の柱を、「院内医療事故調査」と「医療・医学界が一体となって組織・運営する「第三者的機関」としたうえで、すべての医療機関に院内事故調査委員会を設置するとしている。

第三者機関については、医療行為に関連した死亡事例を対象とし、

院内事故調からの調査依頼を受けるほか、患者・家族からの調査請求も可能とした。

検討部会の議論も、日医のこの提言を踏まえて進められてきた。これに対し、昨年末から病院団体などが発表した試案・提言は、院内事故調を中心に据えるものとなっている。

四病院団体協議会(四病協)試案では、院内事故調を基本に据え、病院が重要と判断した有害事象発生時には、地方に設置する院外事

故調査検証委員会(チーム)へ、患者や患者家族の意思とは関係なく報告するとしている。また、医療側が自律的に再発防止のため

の原因分析に専念するため、医療以外の紛争処理や補償制度は別枠で検討するべきだとしていることも特徴だ。

医療現場から出されるこうした提言は、いずれも「原因究明」「再発防止」を趣旨とし、一義的には医療者による自律的な解決をめざすものとなっている。今後、議論がこうした方向に進んでいくことが期待されている。

医療関連団体 参院選に向けて動き出した 医療界の政治団体

7月にも予定される参院選へ向け、医療界の政治団体は動きを加速させている。日本医

師政治連盟(日医連)からは組織内候補として羽生田俊・日本医師会副会長を擁立。また、

昨年12月に繰り上げ当選した武見敬三参院議員も出馬の予定で、病院団体関連の政治団体

などは早くも推薦を機関決定するなど動き始めている。

日本医師連盟の組織内候補として羽生田氏の擁立を決めたのは、1月15日に開かれた同盟の執行委員会だった。日医連ニュースによれば、横倉義武会長は会合で、「過去2回の参院選挙で日医連の力がおちているというふうに他団体から見られ、今回の参院選挙でも候補者を擁立できない、また当選もできない」ということで、

医師の領域をさらに侵食されてしまう懸念もあり、今回は候補者を出すべきであると判断したと、危機感をあらわにしたという。

今夏の参院選では、武見氏が東京都選挙区に回ることで調整、羽生田氏は自民党公認で比例代表から出馬することになる。

20日に開いた羽生田氏推薦に関する記者会見には、四病協と日本慢性期医療協会の政治団体幹部が出席。病院団体が団結して羽生田氏を推し、「医療界代表」として45万票の得票をめざすとした。

前回の参院選では、日本看護連盟が推す自民党新人の高階恵美子、日本薬剤師連盟が推す自民党前職の藤井基之両氏が当選を果たしている。今夏の参院選に向けても、看護連盟は自民党の比例代表候補として石田昌宏・前幹事長の擁立を昨年1月に決定、日本薬剤師連盟は、自民党の衛藤晟一、生活の党のはたもと西参院議員のほか、

介護支援専門員協会を推薦母体に自民党から出馬する木村隆二常務理事の推薦も決めた。

さらに、日本臨床検査技師連盟は自民党から比例代表で米坂知昭・日本臨床検査技師会前副会長を擁立。日本理学療法士連盟も山口かずゆき・前衆院議員を組織内候補として擁立する。

(出典:「フェイク・ニュース」2013年4月号「日本医療企画」)

医療経営士のための日本医療企画白書シリーズ

医療経営白書2012年度版
病医院大転換期における医療“経営”イノベーション
第1部 総力特集 病医院大転換期における医療“経営”イノベーション
◆第1編 座談会
医療経営において中核となるイノベーションと、実現のための視点
◆第2編 医療経営に新潮流をつくるための提言
第1章 「社会保障・税一体改革」を機に、病医院経営をどう変えればよいのか? ほか
◆第3編 医療“経営”イノベーションに向けたさまざまな動き
第1章 まちと医療の融合による新しい地域医療の形 ほか
第2部 病院・医療界の最新経営動向と展望
特集 2025年の医療提供体制へ向けた2012年診療報酬改定の位置づけ ほか
第3部 病院経営関連データ集
●編集:「医療経営白書2012年度版」編集委員会
●編集委員代表:日本医療経営実践協会代表理事 吉原健二 ●企画・制作:ヘルスケア総合政策研究所
●体裁:B5判/並製/2色刷/456頁 ●定価5,250円(税込)→会員価格4,200円(税込)

医療白書2012年度版
地域包括ケア時代に迫られる、病院“大再編”と地域医療“大改革”
●編集委員代表:西村周三(国立社会保障・人口問題研究所所長)
●企画・制作:ヘルスケア総合政策研究所
●体裁:B5判/並製/2色刷/372頁
●定価:4,725円(4,500円+税5%)→会員価格3,840円(税込)
介護経営白書2012年度版
“介護維新”現場からの介護人材教育改革
●監修:川淵孝一/青木正人
●企画・制作:ヘルスケア総合政策研究所
●体裁:B5判/並製/276ページ
●定価:4,620円(4,400円+税5%)→会員価格3,700円(税込)